

フィリピン視察を終えて〔2022年7月12日から7月16日〕

7月12日 16:30 到着	ニノイアキノエアポートターミナル2	PHGIC スタッフが到着口までお出迎えしてくださったので、混乱もなくホテルまで移動。(フィリピン国内の移動は全く問題がありません。安心できました)
18:00 到着	マニラシティガーデンホテル	宮本さん、アスナロメンバー、他の参加者と合流(ホテルのシャワーはお湯で水量も問題なし。トイレも部屋もきれいでした。クーラーも効きました)
19:00 出発	ハーバービューレストラン	今回初めてお会いする方と一緒にマニラ湾に浮かぶ栈橋にあるレストランでお食事。この場ではお酒も入ってみなさんと少しずつ打ち解けてきました。レストランはシーフードで美味しかったです。
21:00 頃到着	マニラシティガーデンホテル	自由時間
7月13日 9:00 出発 10:00~	HOPEWELL 送り出し機関	HOPEWELL さんは価格が明確で、SSW を日本に沢山送り出しているの、POEA,POLO 対応も問題なく、特に POEA とのコネクションもしっかりとしているので、安心して任せられそうでした。日本人対応のロバートさんも日本語がお上手で、スタッフみなさんもテキパキと動いていて、やり取りも早くしてもらえそうな印象がありました。また、併設している日本語学校では、SSW の他、TITP の生徒、HIGHLY-SKILLED WORKER の生徒もおり、さまざまな要望に応えられる人材が揃っている印象を受けました。
12:00 頃~	昼食 マニラで老舗のフィリピンレストラン	老舗のフィリピンレストランということで、雰囲気も味も最高でした。
14:30 頃到着	POEA Sir,VILLAMOR 事務局長と面談	SSW をフィリピンから雇用する際、書類や手続きで一番の難関部署が POLO と POEA です。この POEA に直に訪問できたのは、本当に一番の収穫でした。日本でのフィリピン人材雇用について調べてみても限界があり、想像しかなかったのですが、POEA に訪問できたのは凄いことで、今後企業さんにフィリピン人材の紹介を自信を持ってすることができそうです。 今回の事務局長との面談では、特定技能人材や高度人材の転職についての議題が上がりました。日本の雇用側にとって、高い費用を出しても転職されれば無駄になってしまう。それがあるので雇うことを躊躇してしまう。という悩みに対して、POEA もその点を憂慮しているので、今後何かし

		<p>らの対処をしていきたい。と言っておられました。今後の POEA の対応を期待したいです。</p> <p>また、今まで赴任されていた POLO 代表が交代されるとの事で、「今回からの代表は今までの POLO とは違う、日本にとって有益な行動を取ってくれる、とても良い方が代表に就かれたと」の事で、こちらもよい情報をお聞きしました。こちらもフィリピン人材雇用を促進する起爆剤になるのではないかと考えております。今回 POEA の事務局長とお会いできたことは、今後のフィリピン人材を紹介していくことに、とても励みになりました。これも宮本さんのおかげです。また、POEA に太いパイプを持っている H OPEWELL さんが、POEA に提出の書類、また、POLO へ提出の書類などを作成してくださるとのこと、ここは大きなポイントです。</p>
18 : 00	夕食	老舗中華レストラン HOPEWELL キャサリン代表などと懇親を深めることができました。
7月14日 7 : 00	ホテル	PCR 検査 帰国の為
9 : 00	JCJ 国際人材派遣会社にてジョイ代表と面談	宮本さんから推薦があったように、ジョイ代表のまじめな人柄が印象的でした。こちらの送り出し機関の売りが、素早い対応と明朗会計、日本に送り出しても、その後人材のフォローを惜しむことなくする。ということがモットーだそうです。失踪者を出すことは恥ずかしい。小さい問題も大きくなる前に懇切丁寧に対応して解決していく。と言っておりました。
11 : 00	エマン日本語学校訪問	小さい日本語学校ですが、JCJ さんと提携をしているので、信頼のおける日本語学校だと思いました。まだ小さいので、TESDA から N5 レベルまでしか教えられない教育機関として認定されているようですが、将来は学校を拡大して、TESDA からさらに上のレベルまで教えられる認定が受けられるように頑張っていくそうで、パワーを感じました。日本の語学学校にも留学生を送り出しているそうで、何人かは家族滞在の認定が下りて、日本に家族を呼んでいる方もエマンの卒業生でいるそうです。
12 : 30	昼食	日本食レストランにて
13 : 30	AQUIM 国材人材派遣会社訪問	こちらでは急遽、特定技能の介護人材の方 16 名と面接をすることになりました。皆さん日本語が上手で、以前に日本ではほかの分野で技能実習生を経験している生徒さんたち

		で、介護のテクニックも OJT でフィリピンの赤十字病院で一か月研修を受けているそうです。また特定技能介護評価試験、介護日本語試験も合格し、NC2 も取得し、また日本語検定も合格しているのので、日本でオーダーが入ったらいつでも働ける状態の生徒さんたちでした。よくこのような人材を集められたな。と感心しました。日本の介護施設にぜひ紹介したいと思いました。ただ、送り出し機関としては、不慣れな感じがして、書類のやり取りなどに少し不安を感じました。
18 : 00	シンギングクック	夕食 AQUIM のスタッフの方と楽しいひと時を満喫できました。
20 : 30	ホテル	ホテル滞在
7月15日 9 : 00	日本語学校 SAGE に 出発	こちらの日本語学校では、マウンテンプロビンスの生徒さんたちに、オンラインで日本語学習を教えていることに興味がわきました。(マウンテンプロビンスに住む方たちとは、山岳地帯にすむ民族の方たちで、山あいの地方の為、農業以外に主な産業もなく、町に出るにも 10 時間くらいかかるので、仕事がなかなか見つからなく生活に不自由している方たち) それを知ったフィリピンの富豪が、その方たちのために、日本語教育の機会を与え、将来は日本で働ける機会をつかめる奨学金制度を設立し、その奨学金制度に応募した生徒たちが SAGE のオンライン授業を受けていることに驚きました。また、この子たちを絶対に日本で働かせてあげたい。とも思いました。その奨学制度は日本語学校の授業料が免除になるので、受け入れ機関にとってもその分の支払いが少なくなるため、お互いにウインウイン関係になるのではないかとも思いました。
11 : 30	昼食	日本食レストランで
14 : 00	PHGIC 訪問	ノンストップの代表が体調を崩されているとの事で、PHGIC に訪問。PHGIC のサービスの内容とマウンテンプロビンスの送り出しについて詳しく教えていただく。POEA と POLO に太いパイプがあるので、何かあった場合は頼りになるのではないかと、とても期待が持てる人材受け入れコーディネーターと思いました。また、POLO に申請する際の攻略法も教えていただき、ますます使いたくなる頼りになりそうな印象がありました。今後のマウンテンプロビンスの生徒さんの送り出しの情報を待ちたいと思い

		ます。 また、帰国時の PCR 検査のアプリ入力のお手伝いをさせていただいたり、とても助かりました。
18:00	買い物	ロビンソン百貨店
19:00	バルバラスレストランで夕食	送り出し機関ノンストップの代表のマダム・ルーシーさんと面談。マルコス現大統領をキリスト教上の第二の父（ニノン）を持つなど、フィリピン中枢に近い方と分かりました。今後も人材雇用のことなどで、いろいろとサポートしてくれるのではないかと思います。
21:00	ホテル	滞在
7月16日 7:00	ホテル出発	福岡へ帰路

総評

日本で、フィリピン人材を企業様に紹介するにあたり、様々な資料を読んで勉強しました。しかし今回の視察で、まさに「百聞は一見に如かず」を体感しました。フィリピン人材に関しても直接お会いして、本当にクオリティーの高い人材と分かりました。世界中が欲しがる理由もわかりました。日本も選ばれる国の一つとして、今後努力が必要なのだという事もわかりました。これからは自信を持って、フィリピン人材を企業様に進めていきます。

中野社長、宮本代表、この度はこのような機会を設けていただき大変ありがとうございました。必ず結果もってお礼とさせていただきます。

株式会社アスナロ・サポート 錦